



平成 30 年度 事業報告及び決算について

創立以来、半世紀を超えた歴史ある楽団として、交響管弦楽による音楽芸術の普及向上を図り、文化の発展に寄与するため、小泉和裕音楽監督のもと、公演内容の充実を図り、次のような演奏事業活動を行った。

1. 演奏事業

(1) オーケストラ演奏事業

①定期演奏会 <27回>

内外の著名な指揮者・ソリストを招き、楽団のさらなる技術向上と音楽芸術の発展を目指して定期演奏会を開催した。

日本特殊陶業市民会館（4月から11月）及び愛知県芸術劇場（12月から3月）において、「文豪クラシック」シリーズと題し、シェイクスピアやゲーテなど11人の文豪にちなんだ作品を取り上げる定期演奏会を、11回22公演開催した。

日本特殊陶業市民会館では、市民会館名曲シリーズとして、「ベートーヴェン・ツィクリス」を4回、及び恒例の「第九コンサート」を1回、計5公演開催した。

②巡回演奏会 <8回>

地方自治体等の依頼により、愛知県内外の市町村において開催した。

③移動音楽鑑賞教室 <31回>

未就学児及び小・中学生を対象に音楽鑑賞教室を開催した。

④特別演奏会 <18回>

「東京特別公演」を東京オペラシティで開催したほか、傑作を取り上げた「しらかわシリーズ」、開館20周年記念公演となった「豊田市コンサートホール・シリーズ」、愛知県芸術劇場での「第九特別公演」、ならびに障がいのある方などを対象とした「福祉コンサート」などを開催した。

また、平成29年度にスタートした「平日午後のオーケストラ」を2回開催した。

⑤依頼演奏会 <22回>

企業・団体等からの依頼により開催した。

合計 106回

(2)アンサンブル(小編成の室内楽)事業等

①サロンコンサート

音楽プラザの施設を利用した「サロンコンサート」を年14回開催した。

②まちかどコンサート

市民が集まる場所で、より名フィルが親しまれるよう開催している「まちかどコンサート」を、名古屋市主催のイベントなどと連携して実施した。

③依頼によるアンサンブル演奏

企業や団体等からの依頼によるアンサンブルの演奏活動を実施した。

④公開リハーサル

市民との交流を深め名フィルへの認知度を高めるため「公開リハーサル」を年12回開催した。

⑤楽員講師派遣事業

小・中学校に楽員を数名講師として派遣し、演奏とともに音楽の魅力などを伝えた。

⑥ロビーコンサート

定期演奏会の開演前に、日本特殊陶業市民会館フォレストホール及び愛知県芸術劇場コンサートホールのホワイエにおいて開催した。

⑦名フィルの日

ファン感謝デーとして、一日限りのアンサンブルや「キッズ楽器体験コーナー」などを実施した。

2. 音の向上基金事業

オーケストラ演奏事業の充実を図るため、「音の向上基金」を活用して指揮者 5 名、ソリスト 6 名の招聘を行った。

①指揮者の招聘

定期演奏会には、名誉客演指揮者のティエリー・フィッシャー、アントニ・ヴィット他を、しらかわシリーズには、ライナー・ホーネックを招聘した。

②ソリストの招聘

ピアニストのゲルハルト・オピツ、チェロ奏者のニコラ・アルトシュテット他を招聘した。

3. エール基金事業

楽員の演奏技術の向上を図るため、楽器の購入資金を貸し付けた。

4. 名フィル魅力向上事業

- (1) より一層市民に親しまれるオーケストラを目指して、名古屋城二之丸広場において「ピクニックコンサート」を開催したほか、名古屋城本丸御殿完成を契機とした文化発信事業として、本丸御殿内で「アンサンブルコンサート」などを開催した。
- (2) 名古屋市内・愛知県内で吹奏楽に取り組む中学・高校生を対象とした、「吹奏楽クリニック」を実施した。
- (3) 首都圏での認知度向上を図るため、武蔵野市民文化会館において「東京ドリームコンサート」を実施した。
- (4) 海外公演に向けた調査を実施した。